

⑤

# 地理歴史

## 地理 B

(100点)  
(60分)

この問題冊子には、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」の6科目を掲載しています。解答する科目を間違えないよう選択しなさい。

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。
- 3 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史 A	4～23	左の6科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
世界史 B	24～49	
日本史 A	50～75	
日本史 B	76～105	
地理 A	106～139	
地理 B	140～174	

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。  
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名・フリガナ及び試験場コード(数字)を記入しなさい。

裏表紙に続く。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。  
8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 地 理 B

(解答番号  ~ )

第1問 次の図1を見て、自然環境の地域性に関する下の問い(問1~6)に答えよ。(配点 16)

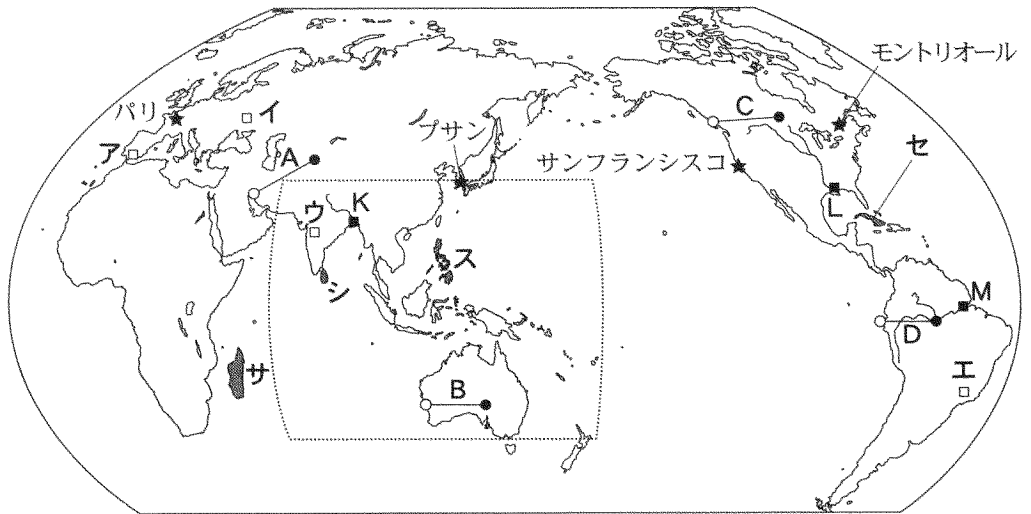


図 1

問1 次のページの図2中の①~④は、図1中のA~Dのいずれかの線に沿った地形断面を示したものである。Cに該当するものを、図2中の①~④のうちから一つ選べ。ただし、図2中の○印と●印は、図1中の○印と●印に対応し、高さは強調して表現してある。

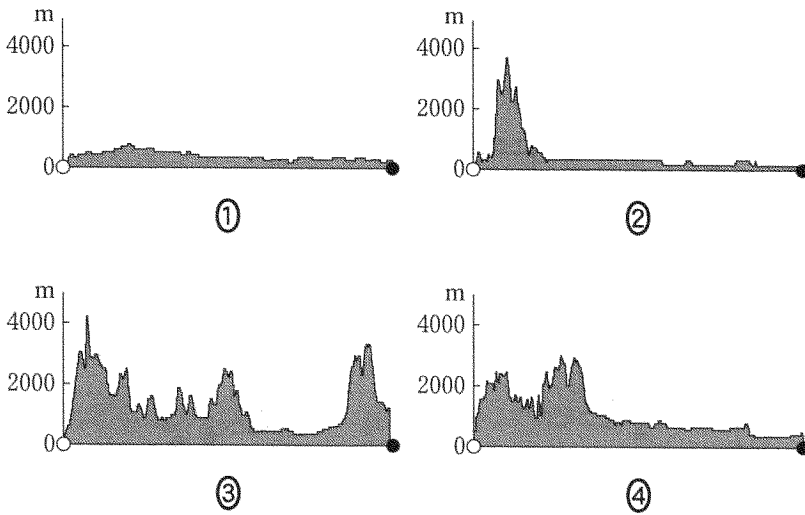


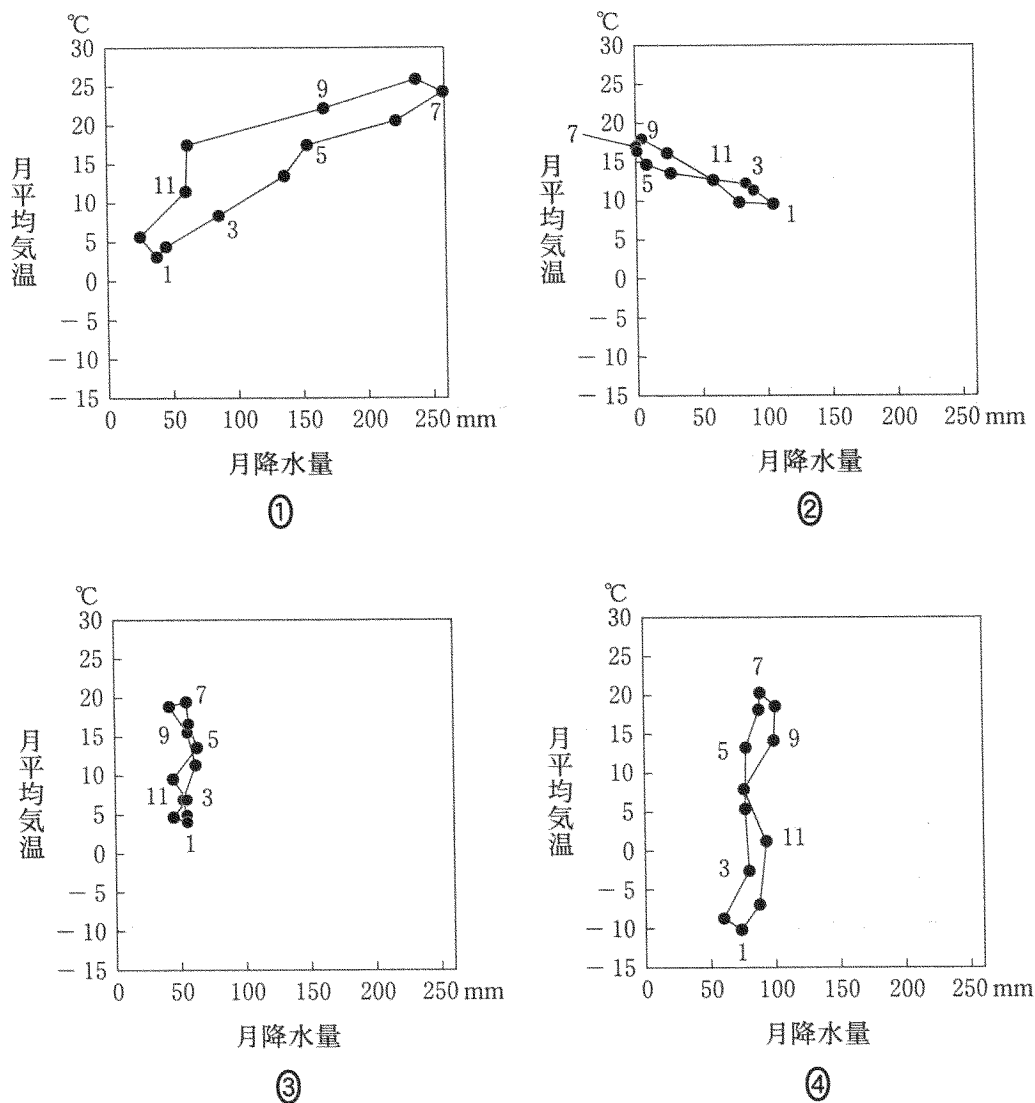
図 2

問 2 次の①～④の文は、図 1 中のア～エのいずれかの地点付近で典型的にみられる土壌と農業の特徴を述べたものである。イに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 玄武岩などが風化して生成した肥沃な土壌のテラローシャがみられ、主にコーヒーが栽培されている。
- ② 玄武岩の風化で生成した肥沃な土壌のレグールがみられ、主に綿花や雑穀が栽培されている。
- ③ 石灰岩が風化して生成した土壌のテラロッサがみられ、主に果樹が栽培されている。
- ④ 草原地帯に分布する肥沃な土壌のチェルノーゼムがみられ、主に小麦やトウモロコシが栽培されている。

## 地理B

問3 次の図3中の①～④は、図1中のサンフランシスコ、パリ、プサン(釜山)、  
 モントリオールのいずれかの地点における月平均気温と月降水量をハイサーゲ  
 ラフで示したものである。サンフランシスコに該当するものを、図3中の①～  
 ④のうちから一つ選べ。 3

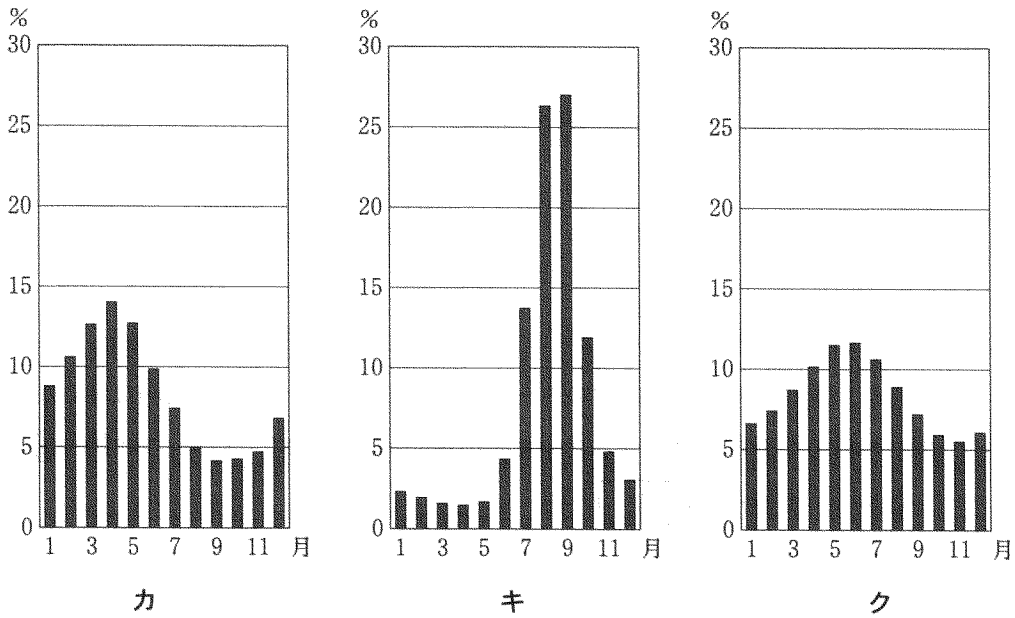


『理科年表』により作成。

図 3

問 4 次の図4中のカ～クは、図1中のK～Mのいずれかの地点における河川の月平均流量の年変化\*を示したものである。カ～クとK～Mとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 4

\*各月の月平均流量を1年間合計すると100%になるように作成してある。



River Discharge Database により作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	K	K	L	L	M	M
キ	L	M	K	M	K	L
ク	M	L	M	K	L	K

## 地理 B

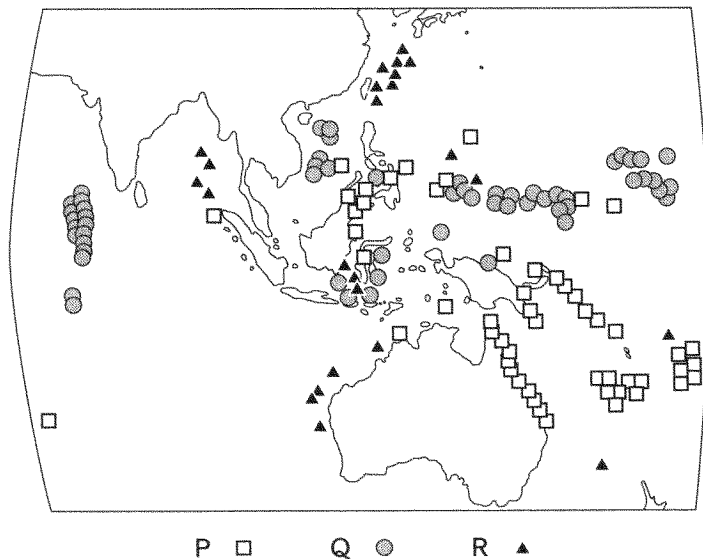
問 5 次の①～④の文は、図 1 中のサ～セの島国について、いずれかの自然環境の特徴を述べたものである。シに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 安定陸塊(安定大陸)に位置しており、西岸はステップ気候などに、東岸は熱帯雨林気候に属している。
- ② 安定陸塊(安定大陸)に位置しており、北部はサバナ気候に、中部から南部にかけては熱帯雨林気候に属している。
- ③ 新期造山帯に位置しており、サバナ気候に属している。
- ④ 新期造山帯に位置しており、大部分が熱帯雨林気候に属している。

問 6 次の図 5 は、図 1 中の点線枠内におけるサンゴ礁<sup>しょう</sup>の形態別分布を示したものであり、次ページの写真 1 中のタ～ツは、図 5 中の P～R の代表的な地点を撮影したものである。タ～ツと P～R との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

6



貝塚爽平編『世界の地形』により作成。

図 5



タ 島の陸地に接する形態の裾礁。<sup>きよしよう</sup>



チ 島や陸地との間にラグーン<sup>ししようこ</sup> (礁湖)のある堡礁。<sup>ほしよう</sup>



ツ 中央の島がなくラグーン(礁湖)を取り巻く環礁。

写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	P	P	Q	Q	R	R
チ	Q	R	P	R	P	Q
ツ	R	Q	R	P	Q	P

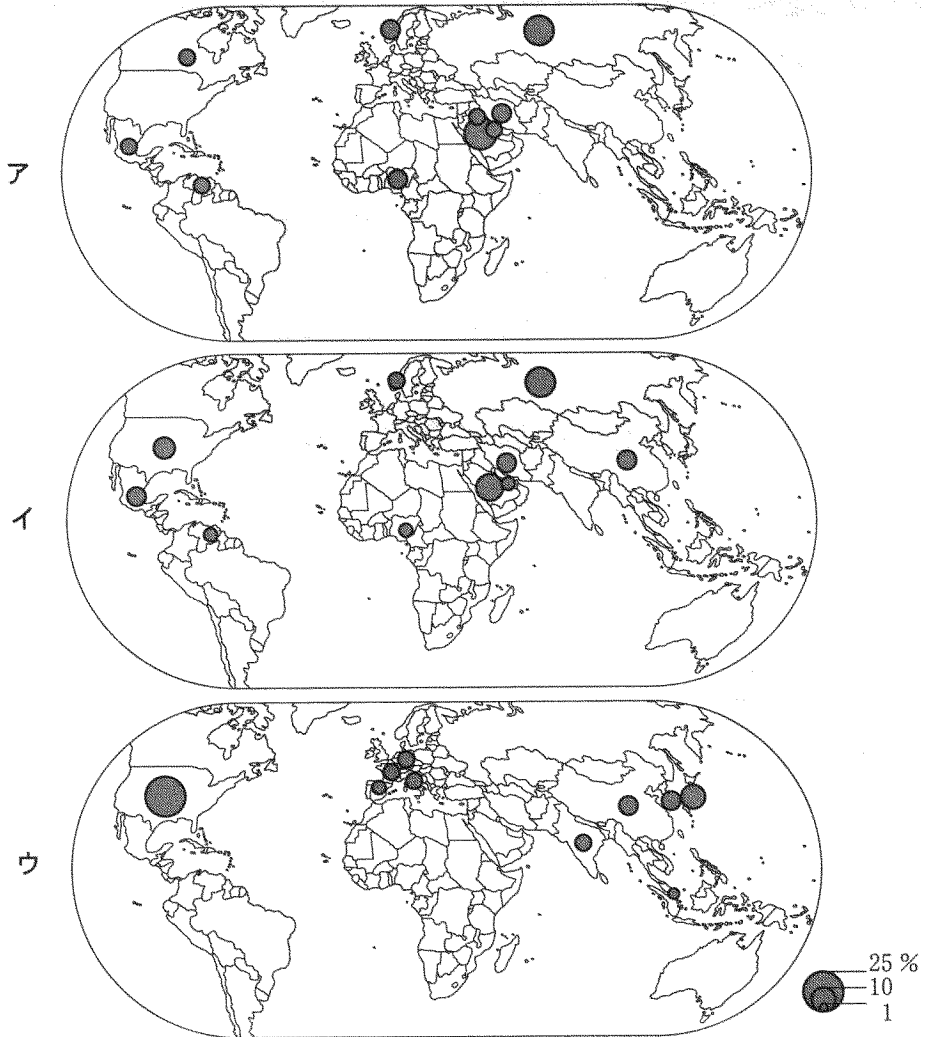


地理B

第2問 世界の資源と産業に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

問1 次の図1中のア～ウは、原油の産出量、輸出量、輸入量のいずれかの項目について、世界の上位10か国とその全体に占める割合を示したものである。ア～ウと項目名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

7



中国には台湾、マカオを含まない。

統計年次は2005年。

Energy Statistics of OECD/non-OECD Countries などにより作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	産出量	産出量	輸出量	輸出量	輸入量	輸入量
イ	輸出量	輸入量	産出量	輸入量	産出量	輸出量
ウ	輸入量	輸出量	輸入量	産出量	輸出量	産出量

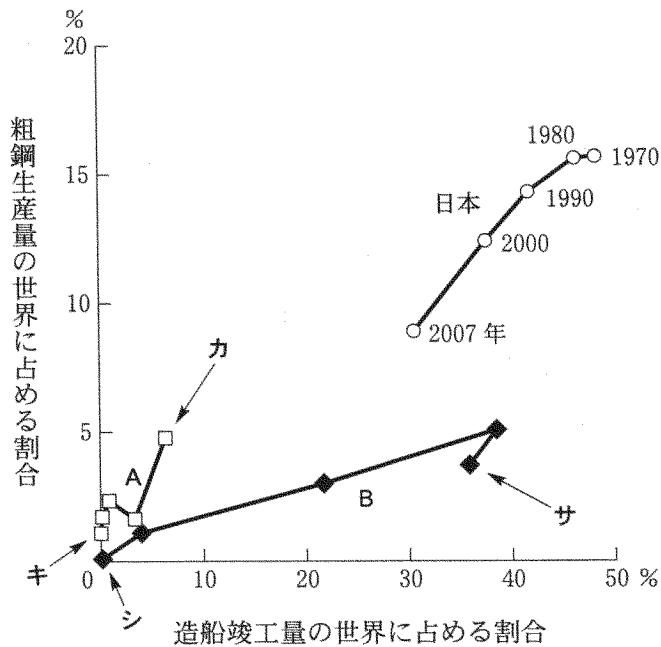
問 2 世界の国における資源と発電の特徴について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① アメリカ合衆国では、かつては豊富な石炭資源をいかした火力発電が中心であったが、現在では原子力発電が総発電量の過半を占める。
- ② インドでは、豊富な水資源を利用した水力発電が総発電量の過半を占めており、大量の電力を必要とするアルミニウム工業が発達している。
- ③ ドイツでは、太陽光や風力などのクリーンエネルギーによる発電量が世界有数であるが、石炭などによる火力発電が総発電量の過半を占める。
- ④ ブラジルでは、天然ガスによる火力発電が総発電量の過半を占めており、電力の一部は周辺諸国へ輸出されている。

地理B

問3 次の図2は、粗鋼生産量と造船竣工量\*の世界に占める割合の1970～2007年の推移を、イギリス、韓国、日本について示したものである。図2中のAとBの折れ線はイギリスと韓国のいずれかであり、日本の割合の推移を示した折れ線のように、カとキの点およびサとシの点には、それぞれ1970年または2007年のいずれかが当てはまる。Aに該当する国名とサに該当する年次との正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

\*100総トン以上の鋼船。



『世界国勢図会』などにより作成。

図 2

	A	サ
①	イギリス	1970年
②	イギリス	2007年
③	韓国	1970年
④	韓国	2007年

問 4 次の表 1 は、原料産地に立地を指向するいくつかの工業について、生産量の上位 5 か国とそれぞれの世界全体に占める割合を示したものであり、①～④は、砂糖\*、セメント、パルプ、ワインのいずれかである。セメントに該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 10

\*粗糖換算。

表 1

(単位：%)

順位	①	②	③	④
1 位	アメリカ合衆国 (27.5)	中国 (47.8)	ブラジル (19.0)	フランス (17.7)
2 位	カナダ (11.5)	インド (6.3)	インド (13.6)	イタリア (16.1)
3 位	中国 (10.0)	アメリカ合衆国 (3.9)	中国 (7.9)	スペイン (12.9)
4 位	フィンランド (6.6)	日本 (2.7)	アメリカ合衆国 (5.4)	アメリカ合衆国 (8.7)
5 位	スウェーデン (6.4)	韓国 (2.1)	ロシア (3.8)	アルゼンチン (5.9)

中国にはホンコンを含まない。

統計年次は、砂糖、セメントが 2006 年、パルプ、ワインが 2007 年。

『世界国勢図会』により作成。

問 5 1980 年代以降における日本の産業の動向について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 1980 年代に入ると、貿易摩擦問題が顕在化したため、自動車関連の企業が北アメリカやヨーロッパにおいて現地生産を行うようになった。
- ② 1980 年代半ば以降には、円高の影響もあり、電機・電子関連の工場が安価な労働力を求めてアジア諸国へ進出した。
- ③ 1990 年代に入ると、IT 技術の進展にともない、これに関連するベンチャー企業が大都市圏に立地するようになった。
- ④ 1990 年代半ば以降には、原料輸送費の削減のため、鉄鋼関連の工場が南アメリカやオーストラリアに進出した。

## 地理B

問 6 次のタ～ツの文は、下の図3中のK～Mのいずれかの地域における産業の特徴について述べたものである。タ～ツとK～Mとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

タ 高級毛織物など繊維工業が盛んであったが、近年では大学や研究所との産学連携によって、先端技術産業が発展してきている。

チ 石油化学工業が発達しているほか、NASA(アメリカ航空宇宙局)の基地があり、航空宇宙産業も盛んである。

ツ 交通の利便性が高く、周辺の鉱産資源を利用した鉄鋼業や機械工業、自動車工業が発達したが、近年ではIT産業などへの業種転換も行われている。

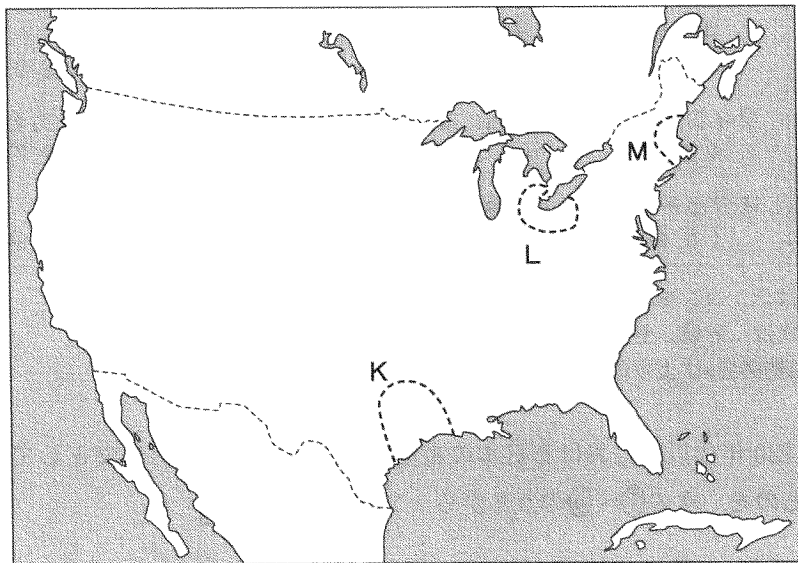


図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	K	K	L	L	M	M
チ	L	M	K	M	K	L
ツ	M	L	M	K	L	K

第3問 生活文化と都市に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 17)

A 世界の生活文化に関する次の問い(問1・2)に答えよ。

問1 下の①～④の文は、次の図1中のA～Dの地域のいずれかに分布する伝統的な住居について述べたものである。Dの地域に該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

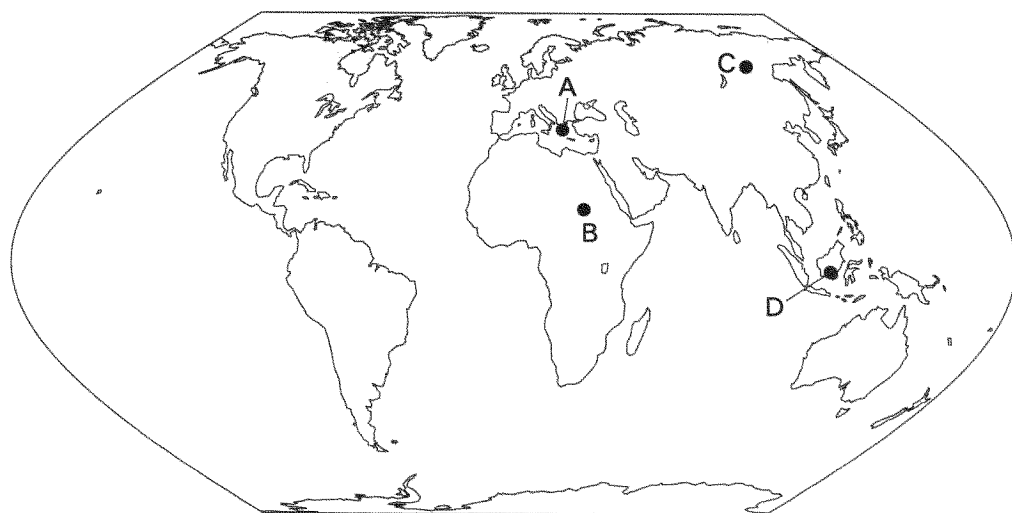


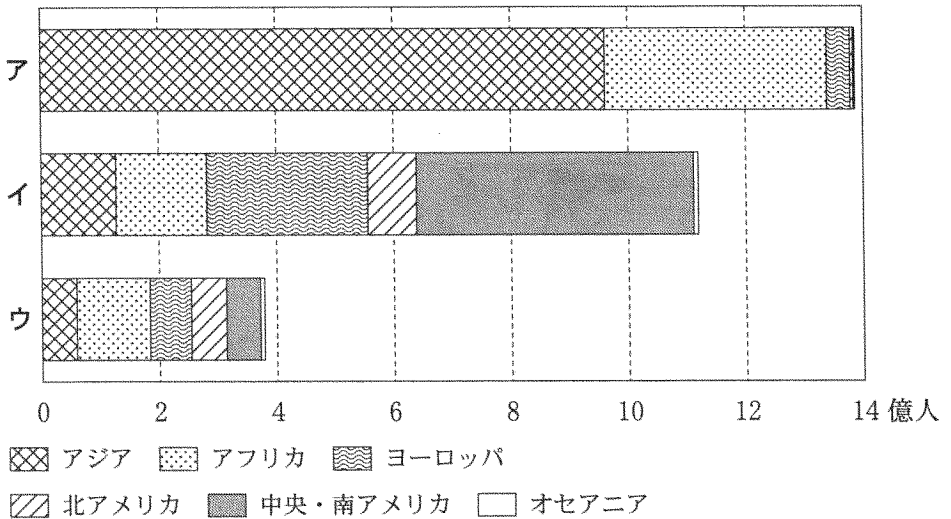
図 1

- ① 厳しい寒さを防ぐため、半地下式住居(イヅバ)がみられる。
- ② 樹木が少ないため、土と日干しレンガを建材に用いた住居がみられる。
- ③ 通気性をよくするため、木と草を用いた高床式の住居がみられる。
- ④ 強い日ざしを避けるため、窓の小さい白壁の石造り住居がみられる。

## 地理B

問 2 次の図2中のア～ウは、イスラーム(イスラム教)、カトリック、プロテスタントのいずれかの宗教・宗派別人口について、総数と地域別の割合を示したものである。ア～ウと宗教・宗派名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

14



統計年次は 2007 年。

The World Almanac and Book of Facts により作成。

図 2

	ア	イ	ウ
①	イスラーム	カトリック	プロテスタント
②	イスラーム	プロテスタント	カトリック
③	カトリック	イスラーム	プロテスタント
④	カトリック	プロテスタント	イスラーム
⑤	プロテスタント	イスラーム	カトリック
⑥	プロテスタント	カトリック	イスラーム

B 都市に関する次の問い(問3～6)に答えよ。

問3 次の表1は、いくつかの都市について、売上高が世界の上位500位以内の企業本社数、国の総人口に占める市域人口の割合を示したものであり、①～④は、シャンハイ(上海)、ソウル、ニューヨーク、プラハのいずれかである。ソウルに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 15

表 1

	売上高が世界の上位500位以内の企業本社数	国の総人口に占める市域人口の割合(%)
①	20	2.9
②	13	21.0
③	2	1.1
④	0	11.5

統計年次は、企業本社数が2008年、市域人口の割合が2000年または2001年。

中国の総人口には、台湾、ホンコン、マカオを含まない。

FORTUNE などにより作成。

問4 世界の都市の特徴について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① シドニーでは、白人に次いで黒人の居住割合が高く、中心市街地に黒人居住区が形成されている。
- ② パリでは、伝統的な建物が取り壊された都心の旧市街地に、高層ビルの林立する大規模なオフィス地区が新たに形成されている。
- ③ メキシコシティでは、所得による住み分けがみられ、市街地を取りまく山地の斜面には高級住宅地が広範囲に形成されている。
- ④ リオデジャネイロでは、農村部から流入する人々が多く、十分な収入を得ることができない人もおり、不良住宅地区が形成されている。



## 地理B

問 5 人口規模がほぼ同じ都市であっても、人口構成や産業などの特徴は多様である。次の表 2 は、人口 40 万～50 万人のいくつかの都市について、それぞれ人口増加率、第 2 次産業就業者の割合、65 歳以上人口の割合を示したものであり、F～H は、愛知県豊田市、長崎市、兵庫県西宮市のいずれかである。F～H と都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

表 2

(単位：%)

	人口増加率	第 2 次産業 就業者の割合	65 歳以上人口 の割合
F	6.2	20.2	16.8
G	4.3	48.6	13.4
H	-3.2	18.6	22.6

統計年次は 2005 年。

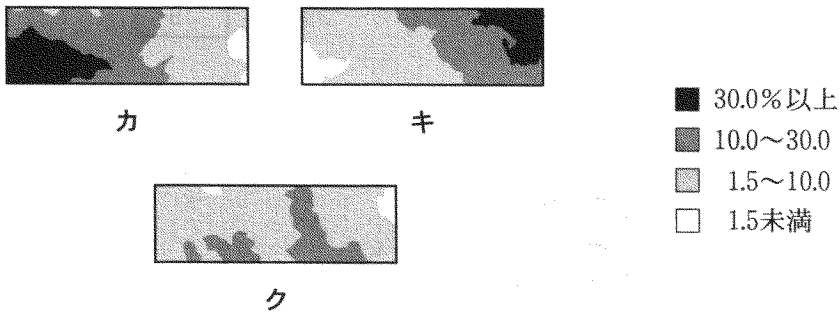
人口増加率は 2000～2005 年。

国勢調査により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
F	豊田市	豊田市	長崎市	長崎市	西宮市	西宮市
G	長崎市	西宮市	豊田市	西宮市	豊田市	長崎市
H	西宮市	長崎市	西宮市	豊田市	長崎市	豊田市

問 6 次の図 3 は、東京大都市圏とその周辺における東京都区部への通勤率\*の分布図から、異なる 3 つの範囲を切り取って示したものであり、カ～クの位置は、下の図 4 中の J～L のいずれかである。J～L とカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

\*就業者数に占める東京都区部への通勤者の割合。



統計年次は 2005 年。  
国勢調査により作成。

図 3

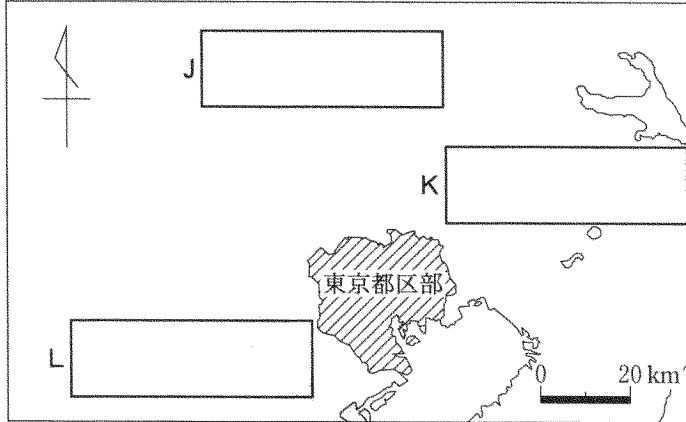


図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	カ	カ	キ	キ	ク	ク
K	キ	ク	カ	ク	カ	キ
L	ク	キ	ク	カ	キ	カ

## 地理B

### 第4問 アフリカの自然と人々の生活に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 18)

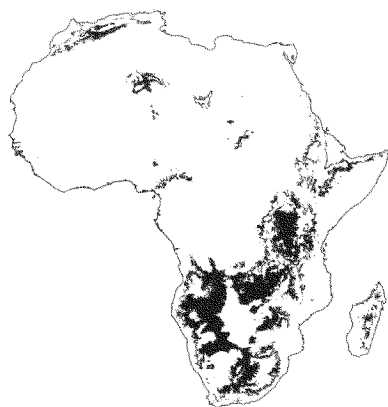
問1 次の図1中のア～ウは、標高500～800 m、1100～1400 m、1600 m以上のいずれかの標高の範囲を濃く示したものである。ア～ウと標高の範囲との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 19



ア



イ



ウ

United States Geological Survey の資料により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
500～800 m	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
1100～1400 m	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
1600 m 以上	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 下の①～④の文は、次の図2中のA～Dのいずれかの地域にみられる食文化について述べたものである。Bに該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

20

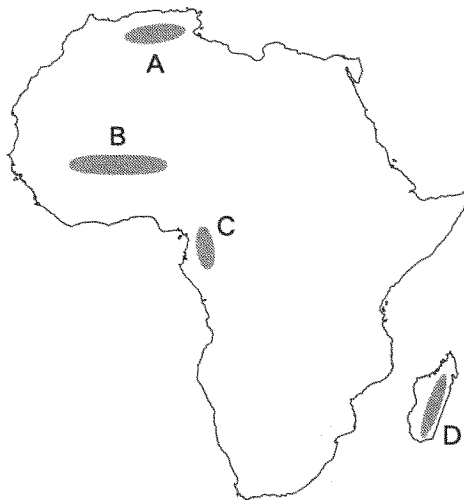
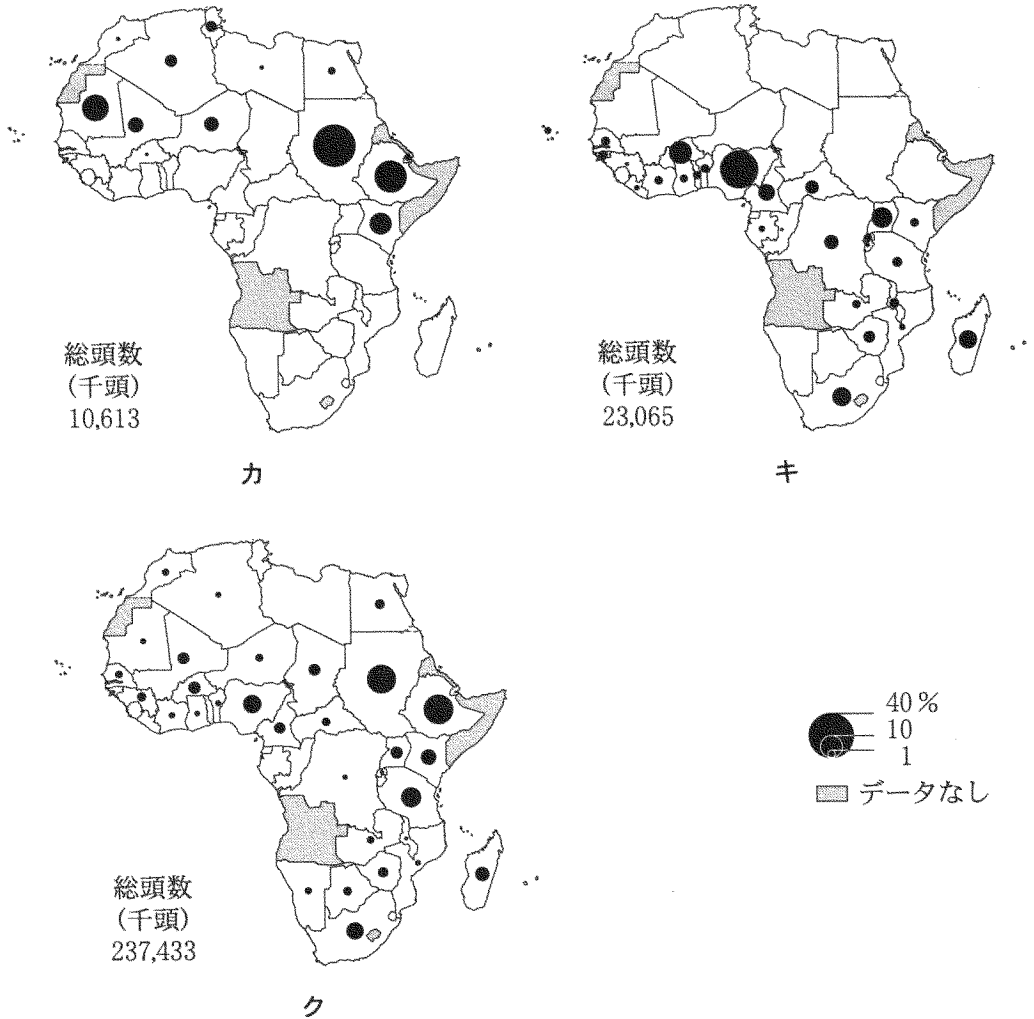


図 2

- ① 小麦粉を粒状にして蒸したものを主食とし、オリーブやナツメヤシを使った様々な料理がみられる。
- ② 雑穀などを主食とし、ラッカセイのペーストやトマトソースを使った肉や野菜のスープ料理などがみられる。
- ③ 米飯を主食とし、肉・魚やキャッサバの葉などの煮込み料理を副食とするほか、ココナッツミルクを使った料理などもみられる。
- ④ ヤムイモなどのイモ類やバナナを餅状にして主食とするほか、豊富な森林産物<sup>もち</sup>を利用した料理がみられる。

地理 B

問 3 次の図 3 中のカ～クは、ウシ、ブタ、ラクダのいずれかについて、アフリカ全体に対する国ごとの頭数の割合を示したものである。カ～クと家畜名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 21



総頭数に占める割合が 0.3% 未満の国は表示を省略した。

統計年次は 2006 年。

African Statistical Yearbook により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	ウ シ	ウ シ	ブ タ	ブ タ	ラクダ	ラクダ
キ	ブ タ	ラクダ	ウ シ	ラクダ	ウ シ	ブ タ
ク	ラクダ	ブ タ	ラクダ	ウ シ	ブ タ	ウ シ

問 4 次の表1は、いくつかの国における輸出額上位3品目とその輸出額を示したものであり、①～④は、アルジェリア、ケニア、ザンビア、モロッコのいずれかである。ケニアに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。

22

表 1

(単位：百万ドル)

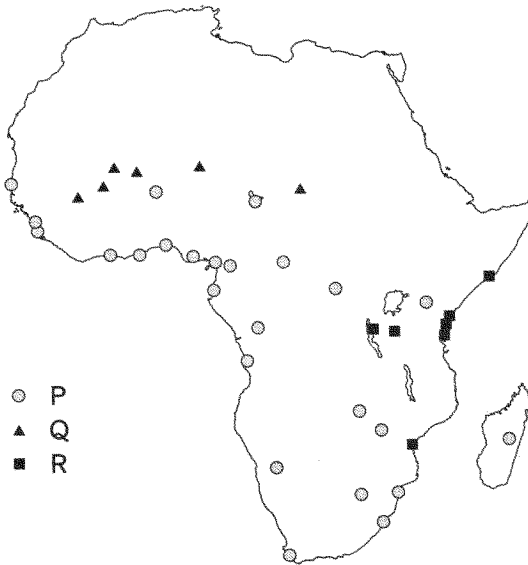
	1 位	2 位	3 位
①	衣 類 3,517	機械類 2,215	魚介類 1,317
②	原 油 33,799	天然ガス 8,281	液化天然ガス 6,738
③	茶 698	野菜・果実 402	装飾用切花等 390
④	銅 3,283	金属製品 271	銅 鉱 258

統計年次は2007年。

『世界国勢図会』により作成。

地理B

問 5 アフリカの都市は、地域の自然環境の特徴を背景とした歴史的な成り立ちの違いによって類型化できる。次の図4中のP～Rは、アフリカのいくつかの都市について、その成り立ちの特徴ごとに分類して示したものであり、下のサ～スの文は、そのいずれかを説明したものである。P～Rとサ～スとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 23



嶋田義仁ほか編『アフリカの都市的世界』により作成。

図 4

- サ <sup>ぞうげ</sup>象牙などを商品とした交易の拠点として成長し、これらの都市を介してスワヒリ語が広がり地域の共通語となった。
- シ 二つの異なる気候帯の境界付近に位置し、それらの一方からは岩塩など、他方からは金や森林産物などを商品とした交易の拠点となった。
- ス ヨーロッパ諸国による植民地経営の行政機能をになうものとして発達した都市であり、ヨーロッパ風の建築や街路パターンなどが残っている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 アフリカでは、国・地域ごとに特徴ある音楽がみられ、その背景は多様である。次のタ～ツの文章は、エチオピア、ガーナ、南アフリカ共和国のいずれかの国にみられるポピュラー音楽の特徴について説明したものである。タ～ツと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 24

タ 植民統治下で起こった西欧音楽と在来音楽との混合を背景に、力強い合唱を中心として発達した音楽である。人種差別撤廃運動が高まった1960年代からは、特にアメリカ合衆国の黒人系ポピュラー音楽から強い影響を受けた楽曲が多く生まれた。

チ 植民統治を受けずに栄えた王国であったこの国では、歌に弦楽器や太鼓を伴奏させる伝統的なダンス音楽を基礎とする現代音楽がみられる。古くから信仰されてきたキリスト教のほか多様な宗教が存在するが、その音楽様式には宗教の違いを超えた共通の特徴も認められる。

ツ 貿易のために立ち寄る諸民族と地元住民との交流を背景としてつくられた音楽を起源として、歌にギターや管楽器などを加えた演奏に特徴がある。近隣にはフランスの植民統治を受けた国々も多いが、この音楽はイギリスの統治を受けた国の都市を中心に発達した。

	タ	チ	ツ
①	エチオピア	ガーナ	南アフリカ共和国
②	エチオピア	南アフリカ共和国	ガーナ
③	ガーナ	エチオピア	南アフリカ共和国
④	ガーナ	南アフリカ共和国	エチオピア
⑤	南アフリカ共和国	エチオピア	ガーナ
⑥	南アフリカ共和国	ガーナ	エチオピア



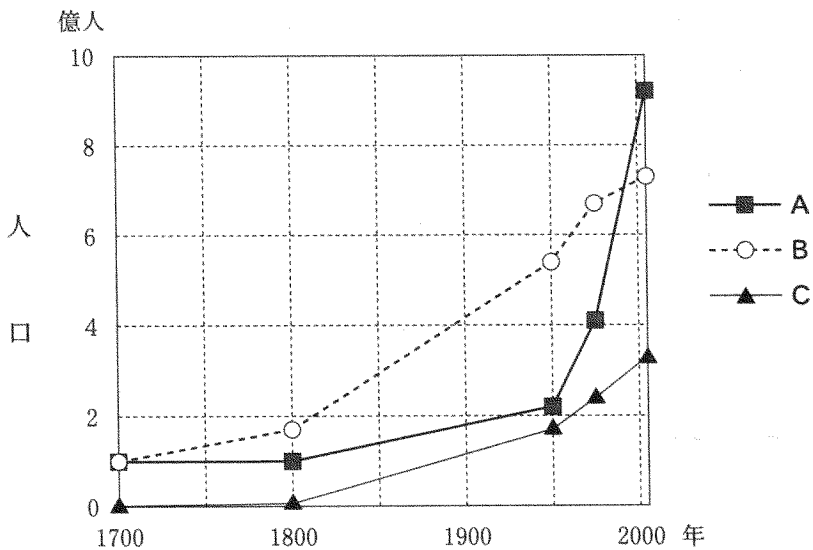
地理B

第5問 現代世界の諸課題に関する次の問い(問1～5)に答えよ。(配点 15)

問1 現代世界の大きな課題として急激な人口増加があり、その過程は地域により異なる。次の図1中のA～Cは、アフリカ、北アメリカ\*、ヨーロッパのいずれかの地域における1700年から2005年の人口の推移を示したものである。A～Cと地域名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

\*アメリカ合衆国およびカナダ。



国立社会保障・人口問題研究所の資料により作成。

図 1

	A	B	C
①	アフリカ	北アメリカ	ヨーロッパ
②	アフリカ	ヨーロッパ	北アメリカ
③	北アメリカ	アフリカ	ヨーロッパ
④	北アメリカ	ヨーロッパ	アフリカ
⑤	ヨーロッパ	アフリカ	北アメリカ
⑥	ヨーロッパ	北アメリカ	アフリカ

問 2 世界各国の食料事情や保健衛生事情には大きな差異がある。次の表1は、いくつかの国における穀物自給率、1人1日当たり供給栄養量(熱量)、5歳未満児死亡率\*を示したものであり、①～④は、インド、韓国、サウジアラビア、ドイツのいずれかである。韓国に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 26

\*生存出生児1,000人当たりの死亡数。

表 1

	穀物自給率 (%)	1人1日当たり供給栄養量(熱量) (kcal)	5歳未満児死亡率 (%)
①	101	3,484	5
②	98	2,473	85
③	35	2,840	27
④	28	3,035	6

統計年次は2003年～2005年のいずれか。  
農林水産省の資料などにより作成。

問 3 難民問題は現代世界の大きな課題の一つである。次のP～Rの文は、スーダン、ミャンマー、ロシアのいずれかの国の難民問題とその背景について述べたものである。P～Rと国名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 27

P 1990年代の国家体制変革後、連邦国家を構成する共和国で独立を求める民族運動があり、これに対する弾圧から難民が発生している。

Q 干ばつなどによる深刻な<sup>き</sup>飢餓や、文化・言語の違いを背景とする政治勢力間の対立が続き、難民が隣国に流出しているほか、国内避難民も多い。

R 軍事政権成立後、それに服従せず民主化を要求する人々が政治的迫害を受けるようになり、難民として流出している。

## 地理 B

	P	Q	R
①	スーダン	ミャンマー	ロシア
②	スーダン	ロシア	ミャンマー
③	ミャンマー	スーダン	ロシア
④	ミャンマー	ロシア	スーダン
⑤	ロシア	スーダン	ミャンマー
⑥	ロシア	ミャンマー	スーダン

問 4 地球的課題を解決する枠組みの一つとして ODA (政府開発援助) があり、その<sup>きよしゆつ</sup> 抛 出 状 況 は 国 に よ り 異 な る。 次 の 表 2 は、 ODA 総 額、 GNI (国 民 総 所 得) に 対 す る ODA 総 額 の 比 率、 供 与 額 が 最 大 と な る 地 域\* を、 抛 出 国 別 に 示 し た も の で あり、 ①～④ は、 イ タ リ ア、 オ ラ ン ダ、 日 本、 フ ラ ン ス の い ず れ か の 国 で あ る。 オ ラ ン ダ に 該 当 す る も の を、 表 2 中 の ①～④ の う ち か ら 一 つ 選 べ。

28

\*OECD の地域区分によるもので、内訳は、サハラ以南のアフリカ、西アジアおよび北アフリカ、南・中央アジア、東・東南アジアおよびオセアニア、ヨーロッパ、ラテンアメリカおよびカリブ海諸国の 6 地域。

表 2

	ODA 総額 (億ドル)	GNI に対する ODA 総額の 比率 (%)	供与額が最大となる地域
①	109.6	0.39	サハラ以南のアフリカ
②	93.6	0.18	東・東南アジアおよびオセアニア
③	69.9	0.80	サハラ以南のアフリカ
④	44.4	0.20	西アジアおよび北アフリカ

統計年次は、ODA 総額と GNI に対する ODA 総額の比率が 2008 年、供与額が最大となる地域が 2007～2008 年。

OECD の資料により作成。

問 5 下のカ～クの文は、次の図2中のE～Gのいずれかの地域で起こってきた人為的原因による環境問題について述べたものである。カ～クとE～Gとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

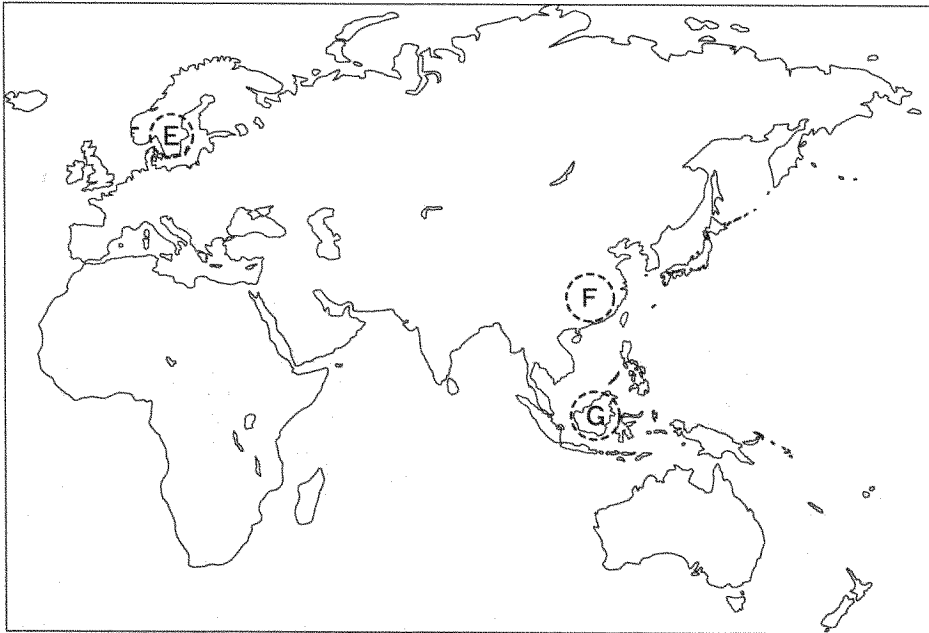


図 2

- カ 国境を越えてきた大気汚染物質がもたらす酸性雨により、この地域の河川や湖沼では水質が酸性化し、水棲生物が死滅する被害があった。
- キ この地域では、商業伐採や農園造成がすすんだことにより、多くの樹種を特徴とする森林が減少し、そこに生息する希少生物が絶滅の危機にある。
- ク この地域を流れる河川には、世界最大規模の水力発電ダムが建設されており、流域の生態系への影響が懸念されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	E	E	F	F	G	G
キ	F	G	E	G	E	F
ク	G	F	G	E	F	E

## 地理B

第6問 佐賀市内の高校に通うユカさんは、次の図1の20万分の1地勢図(原寸、一部改変)に示した佐賀県内の諸地域にかかわる地理的事象について、調査を行うことにした。ユカさんの調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 16)

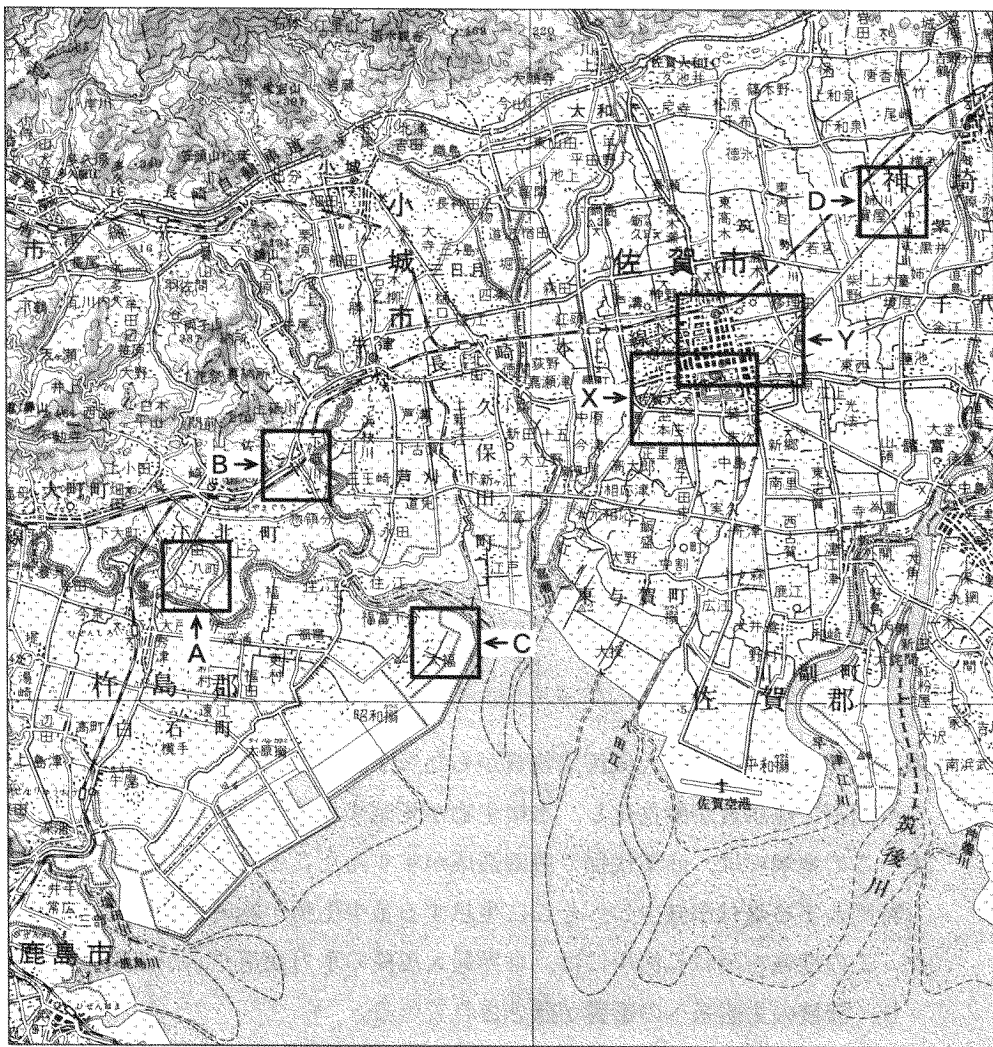
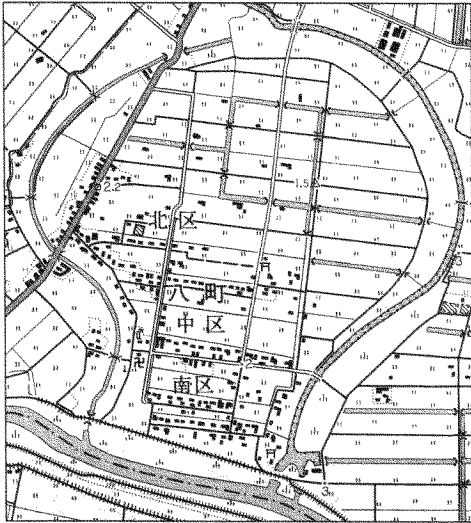


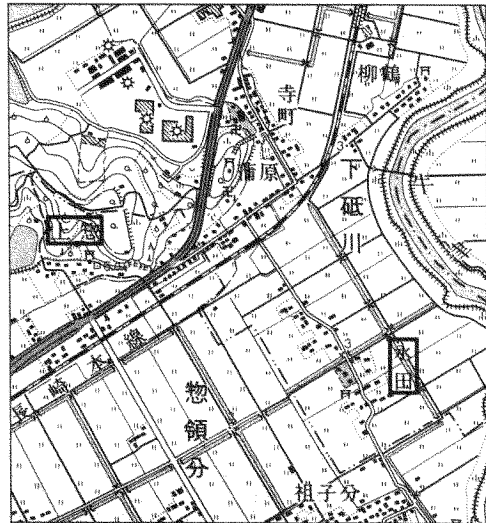
図 1

問 1 ユカさんは、2万5千分の1地形図を使って、佐賀県内のいくつかの地域の特徴を読み取った。次の図2は、図1中のA～Dの範囲を示した地形図(原寸、一部改変)である。図2から読み取れることがらとその背景について述べた文として下線部が適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

30



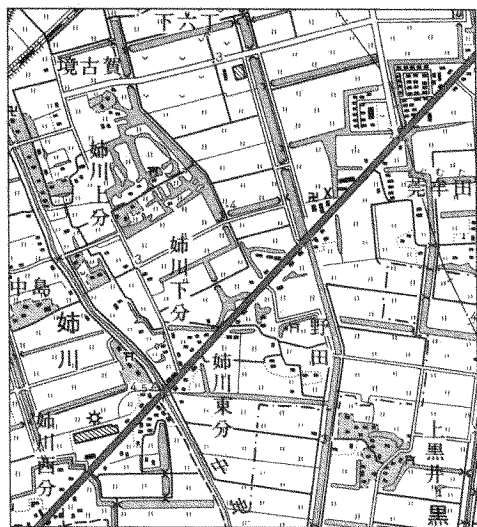
A



B



C



D

図 2

## 地理B

- ① A中の市町村の境界線となっている河川は、かつて<sup>だこう</sup>蛇行しており、<sup>はつちよう</sup>八町はその古い河道に囲まれている。
- ② B中にみられる集落の中には、神社が<sup>まつ</sup>祀られているところがあり、<sup>かみそう</sup>上惣と<sup>ながた</sup>永田の神社間の直線距離はおよそ2kmである。
- ③ C中の地域は、干拓によって造成された土地であり、標高が0m以下の低平地となっている部分がある。
- ④ D中の<sup>あねがわかみぶん</sup>姉川上分や<sup>あねがわしもぶん</sup>姉川下分、<sup>かみくろい</sup>上黒井の集落の周りの水路は、農業用として使用されてきた。

問2 次の図3は、図1中のXの範囲を示す1966年と1998年に発行された2万5千分の1地形図(原寸、一部改変)である。ユカさんは、この2つの地形図を比較して土地利用の変化を読み取った。その変化を述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

31



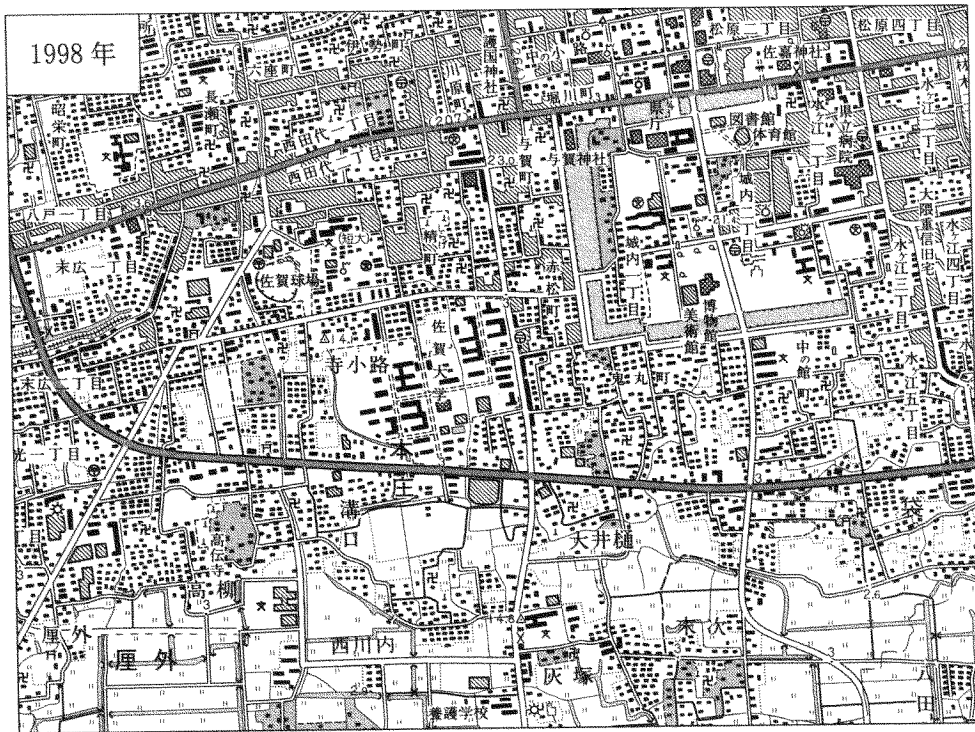


図 3

- ① 佐賀球場周辺に広がっていた水田は、住宅地や学校などに変わった。
- ② 市街地南側の本庄<sup>ほんじょう</sup>付近を通るバイパス道路が、新たに敷設された。
- ③ 城跡を囲む濠<sup>ほり</sup>の西側に集積していた寺院は、宅地化によりなくなった。
- ④ 末次<sup>すえつぐ</sup>の東側の水路は、耕地の整理により直線的な形態に改変された。



## 地理 B

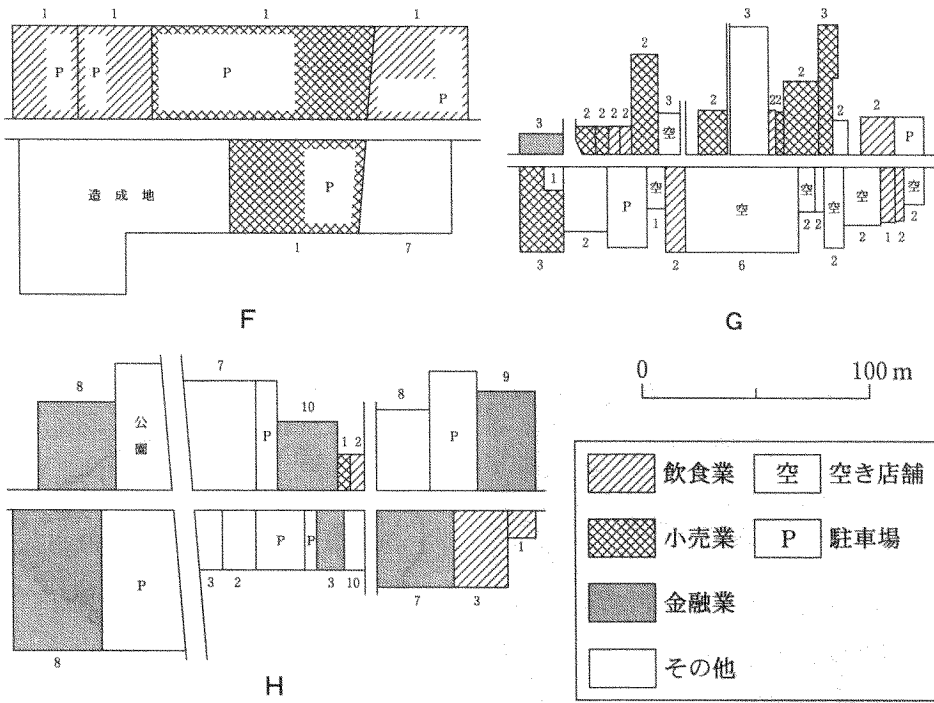
問 3 ユカさんは、佐賀市内のいくつかの商業地区や企業のオフィスが立地する業務地区の特徴について知るため、土地利用に関する現地調査を行うことにした。この調査における事前準備について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 各種統計資料を用いて、佐賀市内における店舗や企業のオフィスの業種構成を調べる。
- ② 空中写真から、佐賀市内における店舗や企業のオフィスに勤める従業員の通勤流動を読み取る。
- ③ 市役所や商工会議所で、佐賀市内において新規に進出した店舗や企業のオフィスの立地傾向に関する聞き取り調査を行う。
- ④ 図書館で市史などの文献資料を閲覧し、佐賀市内における商業地区や業務地区の過去の状況を把握する。

問 4 ユカさんは、事前の準備調査をふまえて、図 1 中の Y の範囲において 3 つの地区を選定し、土地利用に関する現地調査を実施した。次のア～ウの文は、3 つの地区の特徴について述べたものであり、次ページの図 4 中の F～H は、それぞれの地区における土地利用と業種、建物の階数を示したものである。ア～ウと F～H との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

33

- ア 市街地中心部に位置する江戸時代から続く商業地区。
- イ 企業のオフィスなどが集まる業務地区。
- ウ 郊外のバイパス沿いに近年形成された商業地区。



図中の数字は建物の階数を示す。  
 業種はその建物の中で最も広い面積を占めるものを代表として示した。  
 図の上方が必ずしも北を指すとは限らない。

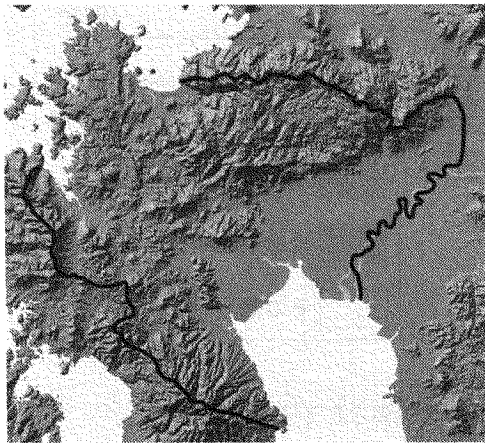
図 4

	ア	イ	ウ
①	F	G	H
②	F	H	G
③	G	F	H
④	G	H	F
⑤	H	F	G
⑥	H	G	F

## 地理B

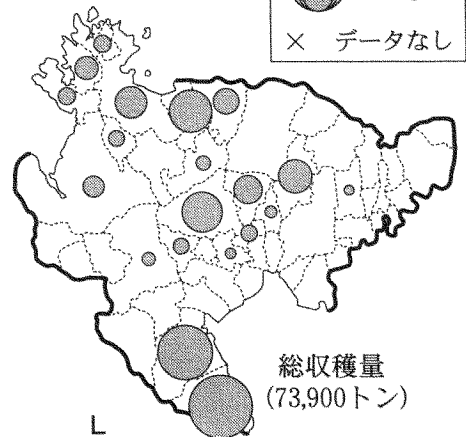
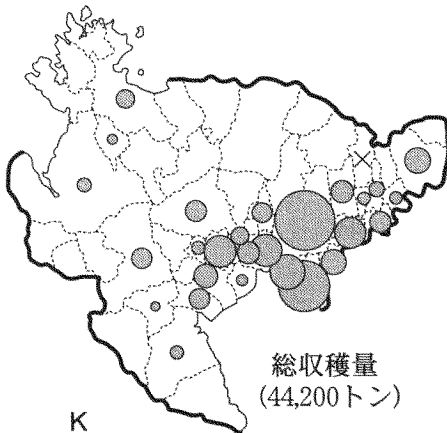
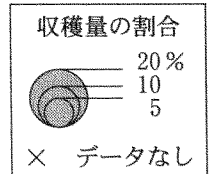
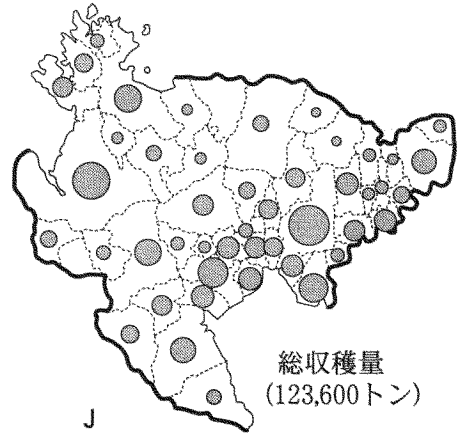
問 5 ユカさんは、佐賀県の自然環境と農業とのかかわりについて調べることにした。次の図5は、佐賀県の地勢と、いくつかの農作物について佐賀県全体に対する市町村\*ごとの収穫量の割合を示したものであり、J～Lは、大麦、水稲、ミカンのいずれかである。J～Lと作物名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 34

\*2004年における市町村。



地勢図

0 10 km



総収穫量に占める割合が0.5%未満の市町村は表示を省略した。

統計年次は2004年。

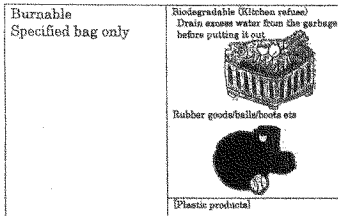
『佐賀県統計年鑑』により作成。

図 5

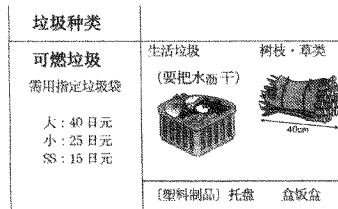
	①	②	③	④	⑤	⑥
J	大 麦	大 麦	水 稻	水 稻	ミカン	ミカン
K	水 稻	ミカン	大 麦	ミカン	大 麦	水 稻
L	ミカン	水 稻	ミカン	大 麦	水 稻	大 麦

問 6 ユカさんは、佐賀市から配布される家庭ゴミの分類表の中に、外国語で表記されたものを見つけ、身近な地域に多くの外国人が生活していることを知った。次の図 6 中のカ～クは、家庭ゴミの分類表の一部と、そこに記載されたそれぞれの言語や文字を使用する韓国・朝鮮、中国、フィリピンを国籍とする外国人のいずれかについて述べた文である。また、次ページの図 7 中の P～R は、それらの外国人について、佐賀県における国籍別の外国人登録者数の年次推移を示したものである。カ～クと P～R との正しい組合せを、次ページの ①～⑥のうちから一つ選べ。

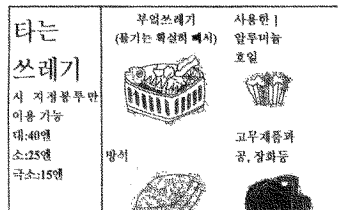
35



カ サービス業を中心に、多くの労働者が流入したが、2000年代半ば以降、外国人の就労に関する入国審査の厳格化により登録者数は減少した。



キ 近年の著しい経済成長により、日本との経済的な結びつきを強めるとともに、留学生や研修生などとして多くの人々が来日している。

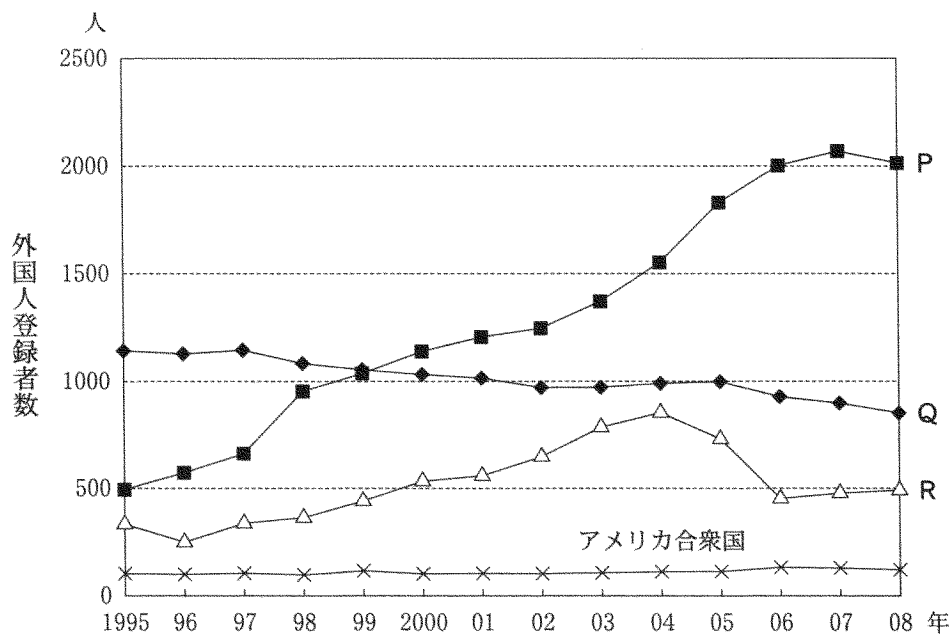


ク 近代以降、日本に移り住んだ人々が数世代にわたって暮らしているが、近年では、日本国籍を取得する者も増えつつある。

佐賀市のゴミ分類表の一部を引用。

図 6

地理 B



佐賀県国際課の資料により作成。

図 7

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	P	P	Q	Q	R	R
キ	Q	R	P	R	P	Q
ク	R	Q	R	P	Q	P